

平成 30 年度 青年部事業報告

1 活動方針

- (1) 組織についての理解を深め、会員意識の高揚に努める。
- (2) 部員相互の親和提携を図り、連帯感の強化に努める。

2 事業内容及び予算額（※印は県の行事）

月	日	事業名	事業内容
5	11	第1回代表者会	○役員選出 ○年間計画の作成
6	8	第2回代表者会	○ヒューマンネットワークプロジェクトの企画立案
6	8	新入会員歓迎会	○会員の意識高揚 ○懇親会
7 ～ 8		ヒューマンネットワークプロジェクト	○各校青年部代表者が三つの企画を立て、それぞれが責任を持って運営した。 ・ビーチクリーン ・ソフトバレーボール ・盆踊り
8	1 2	※組織局夏季合同研修会	○グループ討議 ○講演
7	22	※南予青年教職員研修会	○宇和島ガイヤ祭り（中止）
8	20 21	※3年目研修会	（中止）
8	21	愛教研を語る会 （壮年部と共催）	○研修 ○講演
11	17	※青年教職員研究大会	○グループ活動 ○講演
2	15	第3回代表者会	○今年度の反省と来年度への引継ぎ
2	15	年度末反省・懇親会	○会員の意識高揚 ○懇親会
合 計			

3 今年度の反省と来年度への志向

- HNPでは、どの講座も各責任者を中心に企画・準備を行い、充実した活動を行うことができた。また、今年度は初めて「盆踊り大会」に参加し、地域行事を盛り上げることができた。
- 青年部会員の減少が大きな課題であるが、壮年部と共催という形をとらせてもらうことで、会員相互の連携や活動の充実につながった。